

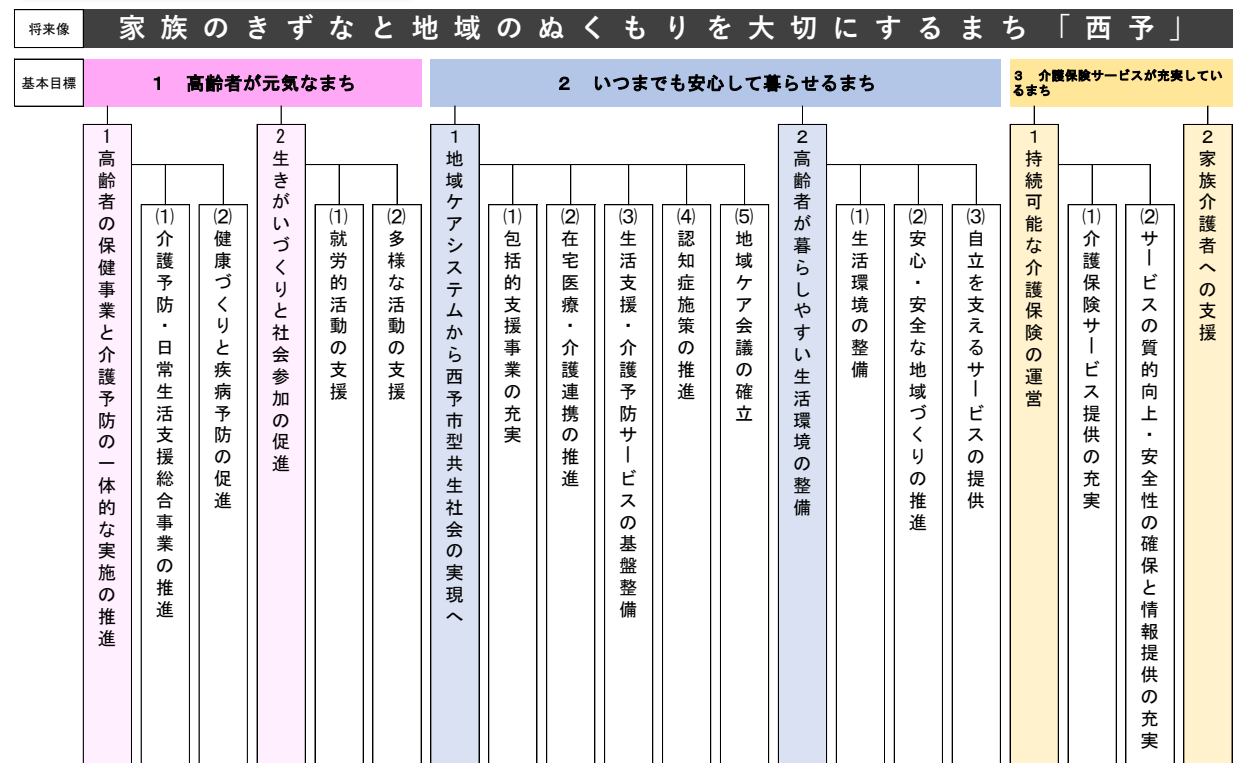
第3章 これまでの取り組み

1. 第8期計画の将来像と体系

西予市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画（令和3年度～5年度）では、第2次西予市総合計画の「医療・保健・福祉」「地域コミュニティ」についての将来像に向けて、地域包括ケアシステムから地域共生社会を実現させる取り組みを推進するため、第7期計画を継承し『家族のきずなと地域のぬくもりを大切にすまち「西予」』を将来像に掲げ、3つの基本目標に基づく取り組みを推進してきました。

基本目標1 高齢者が元気なまち
高齢期になっても元気でいきいきとした生活を送ることができるよう、市民主体の活動を促進し、積極的に社会参加ができるまちを目指します。
基本目標2 いつまでも安心して暮らせるまち
住み慣れた地域で可能な限り暮らしを続けられる地域を実現し、市民それぞれの有する能力に応じて、全ての市民が支え合いの担い手となる「西予市型共生社会」を目指します。
基本目標3 介護保険サービスが充実しているまち
多種多様な介護保険サービスが安定的に提供されるまちを目指します。

第8期計画の施策体系



2. 第8期計画の推進状況

基本目標1 高齢者が元気なまち

今後の高齢者福祉、介護保険事業運営にとって、介護予防は特に重要であることから、介護予防運動教室等により介護予防の重要性及び効果的な体操の普及啓発に取り組んできました。

また、介護予防は、地域で日常的に行われることが重要であることから、地域で率先して介護予防に取り組むリーダーの育成に取り組んできました。このほか、高齢者の生きがいづくりや社会参加を促進するための就労的活動の支援を行っています。

基本目標2 いつまでも安心して暮らせるまち

地域包括ケアシステムの深化・推進に向け、退院支援ルールや在宅・介護連携シートを運用しながら、クラウドサービスを活用し、本市の状況にあった連携体制を構築してきました。

また、認知症対策として認知症ケアパス（認知症あんしんノート）の頒布や、認知症サポーターの養成を推進しており、市民の認知症への正しい理解を深めています。

生活支援については、生活支援コーディネーターを配置し、地域課題と生活支援を検討する協議体を2層構造で設置し、地域の実情に合った支援を推進しています。

基本目標3 介護保険サービスが充実しているまち

適切な介護サービス利用が行われるよう、地域密着型サービスへの指導や介護支援専門員に対しケアプラン点検や相談を行っています。

また、在宅生活が継続できるように、介護を行う家族に対して教室を開催しています。

指標の進捗状況

指 標		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)
新規要介護認定者（要介護1～5）の平均年齢	目標		平均年齢低下の防止		
	実績	84.6歳	83.5歳	83.6歳	83.2歳
ふれあいいいきサロンの数	目標		124	124	124
	実績	124	119	111	114
新規ケアプランを点検する件数	目標		200	200	210
	実績	190	206	216	190
リハビリテーション専門職による市民全体の通いの場への支援回数	目標		13回以上	13回以上	13回以上
	実績	13回	44回	31回	27回
週1回以上、なんらかの地域活動をしている割合（アンケート調査を毎年実施）	目標		21.5%	22.0%	22.5%
	実績	20.5%	28.4%	30.4%	33.4%
地域ケア会議の体制整備	目標		以下に該当する、全ての会議の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア推進会議（専門職による政策検討） ・在宅医療・介護連携に向けた会議もしくは部会 ・認知症対策の会議もしくは部会 ・生活支援の会議もしくは部会 ・個別ケースの検討会 （会議体数や回数は問わず、全市域を網羅していることが条件）		
	実績	現状の体制から整理案を検討している。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア推進会議は未実施 ・「在宅医療・介護連携」「認知症対策」「生活支援」「個別ケースの検討会」は、毎年度開催。 		

第4章 計画の基本的事項

1. 将来像

令和7年（2025年）には、団塊の世代が後期高齢者になり、令和17年（2035年）には団塊の世代が、介護を必要とする割合が増える85歳以上になることに加え、現役世代の急減が見込まれており、医療や介護が必要な高齢者や認知症高齢者が急速に増加することが予測されています。高齢者にとって住みやすく、安心して暮らせるまちづくりを推進していくために、持続可能な制度や仕組みの構築、住民同士の支えあいや高齢者自身の生きがいの創出などに注力していく必要があります。

本計画では、だれもが住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる地域ぐるみの支えあいの基盤をつくっていきます。

将来像

地域とともに歩み自分らしく暮らせるまち

2. 計画の基本目標・施策体系

（1）基本目標

『地域とともに歩み自分らしく暮らせるまち』の実現を目指し、第8期計画の現状と課題を踏まえ、前回計画に引き続き、下記の3つの項目を基本目標として設定します。

基本目標1 高齢者が元気なまち

基本目標2 いつまでも安心して暮らせるまち

基本目標3 介護保険サービスが充実しているまち

(2) 施策体系

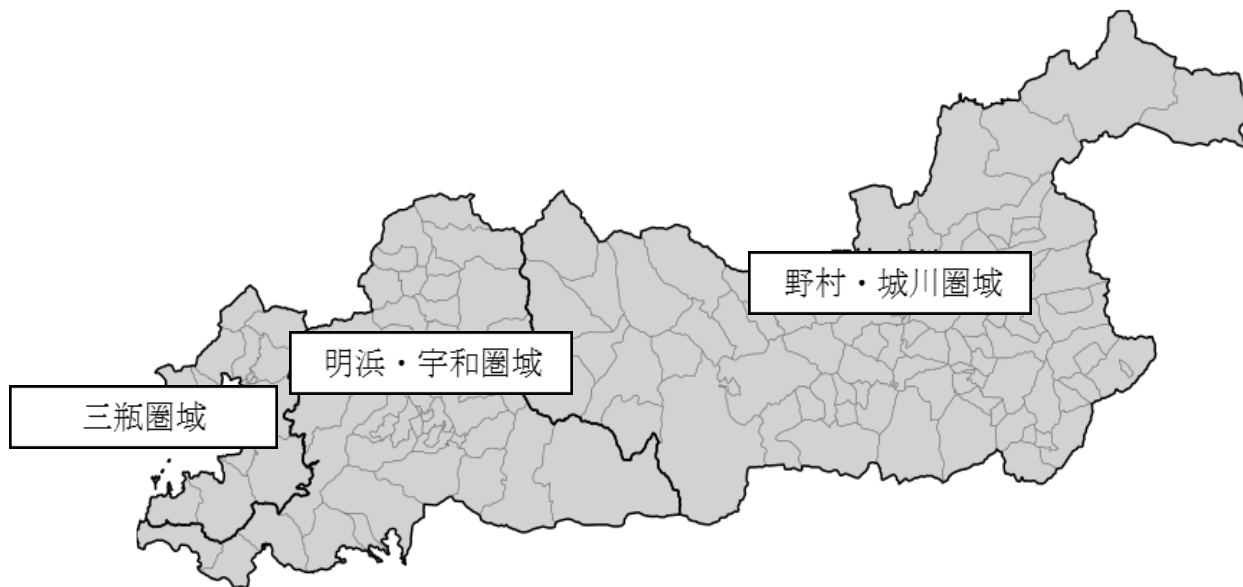
基本目標 1 高齢者が元気なまち	
高齢期になっても元気でいきいきとした生活を送ることができるよう、市民主体の活動を促進し、積極的に社会参加ができるまちを目指します。	
1. 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の推進	(1) 介護予防・日常生活支援総合事業の推進
	(2) 健康づくりと疾病予防の促進
2. 生きがいつくりと社会参加の促進	(1) 就労的活動の支援
	(2) 多様な活動の支援

基本目標 2 いつまでも安心して暮らせるまち	
住み慣れた地域で可能な限り暮らしを続けられる地域を実現し、市民それぞれの有する能力に応じて、全ての市民が支え合いの担い手となる「西予市型共生社会」を目指します。	
1. 地域包括ケアシステムから西予市型共生社会の実現へ	(1) 包括的支援事業の充実
	(2) 在宅医療・介護連携の推進
	(3) 生活支援・介護予防サービスの基盤整備
	(4) 認知症施策の推進
	(5) 地域ケア会議の確立
2. 高齢者が暮らしやすい生活環境の整備	(1) 生活環境の整備
	(2) 安心・安全な地域づくりの推進
	(3) 自立を支えるサービスの提供

基本目標 3 介護保険サービスが充実しているまち	
多種多様な介護保険サービスが安定的に提供されるまちを目指します。	
1. 持続可能な介護保険の運営	(1) 介護保険サービス提供の充実
	(2) サービスの質的向上・安全性の確保と情報提供の充実
	(3) 介護給付適正化事業
2. 家族介護者への支援	

3. 日常生活圏域

本市では、高齢者が要介護となっても住み慣れた地域で生活を続けることができるよう、必要なサービスが継続的かつ包括的に提供できるエリアとして、地理的条件、人口、交通、その他の社会的条件、施設の整備の状況などを総合的に勘案し、「明浜・宇和圏域」「野村・城川圏域」「三瓶圏域」の3つの圏域を設定してきました。本計画においてもこれを継承することとします。



【圏域別人口等】

	明浜・宇和圏域			野村・城川圏域			三瓶圏域
	計	明浜地区	宇和地区	計	野村地区	城川地区	三瓶地区
総人口	18,934 人	2,735 人	16,199 人	9,776 人	6,967 人	2,809 人	5,911 人
高齢者数	7,302 人	1,481 人	5,821 人	4,899 人	3,295 人	1,604 人	3,041 人
前期高齢者	2,959 人	544 人	2,415 人	1,921 人	1,309 人	612 人	1,231 人
後期高齢者	4,343 人	937 人	3,406 人	2,978 人	1,986 人	992 人	1,810 人
高齢化率	38.57%	54.15%	35.93%	50.11%	47.29%	57.10%	51.45%

出典：住民基本台帳（令和5年10月末時点）

第4章 計画の基本的事項

施設・居住系サービス事業所の整備状況【旧町別】

(定員：人)

	明浜	宇和	野村	城川	三瓶
特別養護老人ホーム※地域密着含む (389人)	85	104	100	50	50
介護老人保健施設 (290人)	0	110	100	0	80
介護療養型医療施設 (0人)	0	0	0	0	0
混合型特定施設 (180人)	30	80	0	70	0
認知症高齢者グループホーム (261人)	18	108	81	18	36
計 (1,120人)	133	402	281	138	166

高齢者人口に対する施設・居住系サービスの整備率【旧町別】

	明浜	宇和	野村	城川	三瓶
特別養護老人ホーム※地域密着含む	5.74%	1.79%	3.03%	3.12%	1.64%
介護老人保健施設	0.00%	1.89%	3.03%	0.00%	2.63%
介護療養型医療施設	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
混合型特定施設	2.03%	1.37%	0.00%	4.36%	0.00%
認知症高齢者グループホーム	1.22%	1.86%	2.46%	1.12%	1.18%
計	8.99%	6.91%	8.52%	8.60%	5.45%

高齢者人口に対する施設・居住系サービスの整備率【日常生活圏域別】

	明浜・宇和 圏域	野村・城川 圏域	三瓶圏域
特別養護老人ホーム※地域密着含む	2.59%	3.06%	1.64%
介護老人保健施設	1.51%	2.04%	2.63%
介護療養型医療施設	0.00%	0.00%	0.00%
混合型特定施設	1.51%	1.43%	0.00%
認知症高齢者グループホーム	1.73%	2.02%	1.18%
計	7.34%	8.55%	5.45%

出典：西予市（令和5年10月末時点）